



→なんだか寒々しく見えるが、このところ穏やかな日が続いて、風さえ吹かなければ気持ちいいくらいだ。日本海側では強い寒気のせいで大雪が懸念されるというのに。

↑スカイツリーは日々、成長を続けている。先端のシャープペンシルの芯のような部分が伸び、2月いっぱい中国のタワーを越えて世界一になるというので、心のどこかで笑う準備中？

デフレが続いているので、年金受給額を下げるという政府発表があった。政府のいうように世の中は、ほんとうにデフレなのだろうか。たとえば食料品。代表してカップ麺をみてみる。これまで一〇〇円をきっていたカップ麺は、のきなみ二十円ちかくアップしている。価格据置におもえる商品をよくみると容量を減らしてある。サイズを小さくしてあるわけだから実質的には値上げをしていることになる。せこい話だが、これまで九十八円だった中国産ニンニクにいたっては、三個入りが二個入りになって一四八円になっている。倍ちかい値上がりだ。ここには写真を載せなかったが、矢切あたりで売られているゴミ袋は、一八〇円の目玉商品が、一八〇円ちかくになって目玉ではなくなった。さらにしつこくいうと、国民年金保険料はデフレ、インフレに関係なく毎年アップする。介護保険料、後期高齢者医療保険料もスライドアップする。ここにあげた値上がり商品は、生活必需品で儉約はできても買わないわけ

今週のクマ

クマは不思議な犬だ。クマだけではなく動物はみなそうなのかもしれないが、カメラを向けるときまってピッと顔をそむけてしまう。ときどき人間にもそんな人がいる。



→右の切り込み写真の中国のニンニクの値上がりはすごい。カップ麺だって負けてはいない。ひっそりと、確実に値上げをした。



にいかないものだ。

国民年金の場合には不払いもができるが、将来受給できないリスクがある。

いっぽう、介護保険料や高齢者の医療保険は年金受給額から天引きされる。

デフレ、デフレの声にごまかされ、どこかで、だれかにごまかされてはいないかしら……。

そんなことをブツブツつぶやいていたら、若舟頭に聞こえたようで、

「うちなんか値上げをしたくてもできないんで困ってるつてのに……」

プンプンとはいわなかったが、そうとう不満なようだ。

矢切の渡しの乗船料金は、昭和四十年代には大人三十円・小人二十円だった。

その後、四十、五十、七十、八十円と値上げをして、昭和五十五年にいまの大人一〇〇円・小人五十円でおちついた。それから三十年間値上げをしていない。

「それにしても十年間で四回の値上げはすごいね」といったら、すかさず若、「こまごま値上げをしたら釣り銭まちがいななどで大変だったんだ」

で、きりいいのいい一〇〇円、五〇円でおちついた。そういうことらしい。

知らなかったなあ……。